

# 街の不動産トラブルを解決する

## 32 調停人候補者紹介

ADR（裁判外紛争解決）という概念には、裁判以外の紛争解決手段が広く含まれます。日本不動産仲裁機構に寄せられる様々な相談のうち、制度上の正規の和解手続きに至るものはごく一部ではありますが、ADR制度を背景にお客様の相談に向き合う調停人の日々の活動はそれ自体が広い意味でのADRと呼ぶことができるでしょう。ここでは、そのような街の調停人候補者の方々の声をご紹介します。

### 公平に接する

まず、私の関わったトラブル事例を紹介させていただきます。これは相続にかかわるトラブルであり、被相続人の弟さんからの依頼でした。

次に、私が調停人候補者と相続した不動産に姉が居住しており、退去や売却に応じてくれないというのです。最終的に売却となり、金銭の分配ができ解決しましたが、ご依頼の際に、相談もしてもらえない事が多々あり、また、相談してもらっても知識不足でお役に立てないことも多々あり、毎回歯がゆい思いをしております。その際に調停人という資格があることを知ったことがきっかけです。

仮にトラブルがあつたとしても、費用も敷居も高い弁護士に依頼する前に問題を解決できれば当事者の方にとって理想的だと思われま

す。もちろん、どうしても私の力不足で解決できない場合は弁護士を頼ることにいたします。私の場合、黙りますが、依頼していても仕事が入って来るわけではないので、不動産仲介業者として、お客様が問題を軽く相談でき抱えている、もしくは問題を抱えていそつたと判断できれば、しっかりと「調停人の資格を持っております」とアピールすることをごい



事務所外観

【調停人候補者】

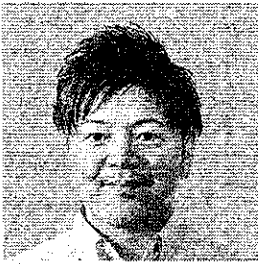
## 藤 沢 茂 氏

株式会社Qurepass 代表取締役 (東京都豊島区)

頼人側の弟さんの肩を持ちたくなる気持ちもグッとこちらへ、公平に接したことで、お姉さんからも信頼を得たこと、解決につながったと思います。

「調停人候補者」として業務に当たっている者として、よくトラブルで行き詰ましている方に出会います。その際に、相談もしてもらえない事が多々あり、また、相談してもらっても知識不足でお役に立てないことも多々あり、毎回歯がゆい思いをしております。その際に調停人という資格があることを知ったことがきっかけです。

「調停人候補者」として業務に当たっている者として、よくトラブルで行き詰ましている方に出会います。その際に、相談もしてもらえない事が多々あり、また、相談してもらっても知識不足でお役に立てないことも多々あり、毎回歯がゆい思いをしております。その際に調停人という資格があることを知ったことがきっかけです。



藤沢茂氏